

観光地域マネジメントと地域価値創造

研究の概要

行政や観光協会・DMOなどの観光振興組織に着目し、観光地の経営方針の決め方や、資金源・体制、地域の観光事業者との関係、その団体自身のガバナンスなど、観光地域のマネジメントについて、EBPM（証拠に基づく政策立案）の観点から研究しています。

また、観光が地域にもたらす効果・効用について、産業連関分析による地域経済への貢献規模把握や、費用便益分析などによる観光資源（資本）の効用把握に加え、インフラ整備やイノベーション、地域の魅力発掘や郷土愛への目覚めなどの社会的側面も含めて、観光の地域振興効果を研究しています。具体的な事例として、わが国では現在11か所のみで行われている鶴飼について、観光という視点から鶴飼事業の意義、ほかの観光事業との違い、観光行政にとって鶴飼とは何かといった点に関して研究をしています。

研究の特徴

実務経験（行政の観光分野）と研究経験（政策科学）の双方の知見から、観光戦略・観光政策・地域振興といった観光地域づくりの課題解決に向けては、観光地経営ガバナンス・観光地域マネジメント・エビデンスに基づく地域価値創造という研究アプローチを進めていきます。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

- ・観光分野の計画策定に関する助言
- ・観光組織の事業計画立案・遂行に関する助言
- ・観光振興による経済波及効果測定 など

研究者からのメッセージ

観光は、様々な効果が期待できる分野であるとともに、多くの関係者が存在する分野でもあるため、観光振興に関しては多様な観点からの検討が欠かせません。実務経験と政策科学のアプローチによって、観光地域振興に役立ちたいと考えています。

研究分野 : 観光戦略、観光政策、地域振興

研究者の所属部局・職位・氏名 : 和歌山大学観光学部 専門職大学院・特任教授・松田敏幸

本件に関するお問い合わせ : liaison@ml.wakayama-u.ac.jp